

## 感染予防対策について（2025年，3月更新）

以下、長い文になりますが歯科治療をなるべく安全に続けられるよう、大切な事柄ですので最後までお読みいただけますと幸いです。

マスクの着用は患者さんの任意と致します。

医院側の判断により患者さんにマスクをしていただいた方が良いと判断した場合はこちらでもマスクをご用意していますので着用をお願い致します。

咳マナーなど、基本的な感染防止策はこれまで通りお願い致します。

慢性の呼吸器疾患で咳が出やすい方、そうでない方も治療中にむせてしまったりして咳が出てしまうこともあると思いますのでそのあたりはおおらかにお考え下さい。

これまで待合室、洗口室、診療室は患者さん一人ごとに消毒液で清拭、乾燥、換気していました。状況を見ながら待合室と洗口室は適時の清拭、消毒に変更致します。

しかしこれからも新型コロナ感染症やインフルエンザ等の流行状況にかかわらず診療室の消毒操作はこのまま変更しません。

この為、乾燥前は入室できませんのでご体調の変化がないかご確認の上、ご予約時間の少し前にいらしてくださいませよう、お願い致します。

歯科医師及び、スタッフは他の感染症にも対応する必要がある為、マスクやゴーグルを原則着用しております。

なお、飛沫を多く浴びる歯科医師は適時、帽子や診療着を交換しています。

歯科衛生士も同様です。

グローブは患者さん一人ごとだけの交換ではなく、診療室の入退室時も含めて複数回、頻繁に交換しています。

当院の感染防止のための設備は当院のホームページに記載しております。以前から出来る限りの事はしており特に設備追加はしておりません。

口腔外バキュームも常時稼働させています。これらの機器にはさらに2か所、フィルターを追加しています。高性能 HEPA フィルターの網目は $0.3 \mu\text{M}$ です。最終的には $0.01 \mu\text{M}$ の網目のフィルターを通してしています。

合わせて業務用の大型の外気取り入れ装置と排気装置を稼働しています。

当院では感染症専門機関からアドバイスを頂いております。

院長はアンチワクチン派でも推奨派でもありませんが実際に感染症に罹患して苦しんでいる方、お亡くなりになられた方、悲しまれている方、後遺症で苦しんでいる方がい

らっしゃるのは事実です。

そして人口透析をされている方やその他の基礎疾患をお持ちの方も大勢いらっしゃいます。

重度の骨粗しょう症の方はひどい咳が続けば肋骨骨折をしてしまう方もいらっしゃいます。

必要以上に怖がる必要はないと思いますが感染、発症しても欠勤欠席を出来る方、リモート等で働ける方がいらっしゃる一方で色々な事情で休めない方も大勢いらっしゃることを考え、当院にいらっしゃる間はお互い様、ご配慮頂けますようお願いいたします。

当院では消毒用アルコールによる消毒は補助的なものとしています。理由はコロナ対策だけではなく B 型肝炎ウイルスやその他のアルコールでは効果がない感染症などに対するの防御も忘れてはならないからです。

それらに効果のある次亜塩素酸ナトリウムや高価ですが医療用の薬品をメインに使用しています。

院長 林浩太郎